

## 平成23年守谷市議会第2回定例会会議録

### 平成23年6月 市政に関する一般質問

15番（梅木伸治君） 危険な道路の報告や要望と。特に板戸井，大木地区の体制についてという一般質問の題を挙げさせていただいていますが，まず，危険な場所，市内において。特に道路になるかと思いますが，危険な場所を掌握しているのか。また，多分区長さんとか一般の方から，また請願・陳情で，道路の整備についてかなりの数が上がっているのかなと思っています。危険な場所の掌握，またその修理，整備ですか，それに対する優先順位というものを，この点をまずお聞かせ願いたいと思います。

議長（伯耆田富夫君） 生活経済部長松丸美恵子君。

生活経済部長（松丸美恵子君） お答えさせていただきます。

危ない箇所の優先順位ということでございますけれども，今，危険箇所に関しましては，区長さんとか市民の皆様からの通報によりまして，危険箇所を把握することが多いのも実情でございますけれども，職員が市内に出かけた際に危険箇所を発見した場合には報告していただいております。

それから，交通安全対策上のパトロールではないのですが，警察官OBの防犯指導員が防犯パトロールを実施中に危険箇所を発見した場合には速やかに報告を受けております。防犯指導員の中には，警察官OBで交通関係が長かった指導員もおりますので，危険箇所というようなものを防犯指導しながら見てきていただいております。

優先順位といいますのは，一番危ないところというか，市民の方からあったものすべてについて警察の方には要望はしておりますけれども，流れ的に市でできない追い越し禁止の規制とか一時停止の規制につきましては，道路交通法に基づく交通規制でありますので，市役所でできない部分に関しましては，警察の方に要望している状況でございます。

議長（伯耆田富夫君） 都市整備部長笠見吉代君。

都市整備部長（笠見吉代君） 建設課の方からも報告させていただきたいと思います。

今，回答がございましたほかに，建設課の方では職員が現場の方に出ておりますので，直営工事とあわせてパトロールをしているというのが実情でございます。

危険箇所につきましては，直営でできる範囲は直営で修繕をさせていただきますけれども，業者の方の発注は，大きな危険箇所を改修する要因かと思っております。

ちなみに，業者の発注をしました緊急工事でございますけれども，平成22年度は90件，23年度は6月現在で15件の発注をしているところでございます。

議長（伯耆田富夫君） 梅木伸治君。

15番（梅木伸治君） 通勤の途中やパトロールの途中に危険箇所を探すと。また，区

長の声を聞いたり、市民の声を聞いていくんだということですが、なかなか声に出せない要望というのもあるんですね。当然、市民の不安をなくしたり、不満をなくしていくというのは議員の仕事ですから、その地域、その地域の中で出てきた問題を行政にぶつけていくというのが私たちの仕事であると。私たちというか、私も、若干市議会議員として怠慢なところもあるのかなというふうな反省に立っているところですが、今回、そういう行政職員も歩いているということですが、気がつかないところがあると。気がつかないところというのは、生活しなければわからないというものがあるかと思えます。車が速く走っているとか、車の台数が多いとか、渋滞しているとか、こういったものはだれが見てもわかることであろうかと思えますが、そこに生活した上で、確かにここは危ないな、危険な場所であるなど、通学途中もこういう場所が危ないなということがあるかと思えます。

過日、通学審議会ですか、子供たちの通学路に関して、安全性は本当に保たれているのかという質問をさせていただきました。そのときは、残念ながら机上論の中で安全であるというふうな会議のようでした。まさに例えば6時、7時、8時、8時ということはないけれども、5時、6時の暗くなったとき、また朝の登校のときに、本当にその場所に行って安全かどうかというものを、やはり現場で見て、その生活圏の中で感じるものがあるのかなと思えます。

そんな中で、何点か、今回気になっている箇所がございます。ちょっと例えばの話でさせていただきますと、板戸井、大木地区と今回は表題の中に入っていますが、わかりやすいので個別の名前を出させてもらいますが、吉春さんのわきから常総市方面、滝下橋方面へ向かっていく途中、特に守谷高校の手前の上り坂、ここはセンターラインも消えていますし、歩道はどこにあるのかというような状況にあるかと思えます。子供たちが通学する場所でもございますし、非常に朝晩交通量が多いところでございます。こういうところの安全はどうなのかということがあるんですね。

市民にとって、どこが県道であり、どこに市道がありという線引きは、残念ながら掌握し切れません。ですから、そこは県道だから、市道しかないからというふうにばさっと話を切られるという、市民にとっての不満もございます。そんな中で、行政がすべきことは、例えば竜ヶ崎土木事務所に極力足を運んで、センターライン一本ぐらいいは速やかに引いてもらう、警察所管に行って速やかに対応してもらうということが大切なのかなと。

そして、2点目の例でございますが、滝下橋を渡りますと、道路が、センターラインが白いところもあります。追い越し禁止のところもあります。あそこの板戸井地区には、時折、取手警察所管でしょうか、スピードの取り締まりなんかもやっています。スピードの取り締まりをやるというのは、そこは危険地域だからスピードの取り締まりをします。その速度を抑制するために、そういうところでやるというふうに私は聞いたことがございます。なのに、その部分がセンターラインが白い。追い越し禁止でない。これはどういうことなのかな、やはり整合性がとれないんじゃないかというふうな感じがします。

そして、そこから先を考えれば、板戸井地域は、右側が住居地域が多いですね、常総の方へ向かうと。それで左側が畑といった場合、右に住まわれている人が、その道路を渡って左側の職場に行くんですね、畑に行くということ。畑に行くというのは、当然、日常茶飯事、夜はないとしても。その中で、年寄り、年配の方という言い方をしないともまずいのかな。そういう方たちが畑仕事に行くんだと。あそこの道路の幅員を考えた場合、やはりもう少し安全対策をしていかなきゃならないんじゃないかなと。特に追い越し禁止じゃない、追い越ししてもいいですよという道路であるということは、本当に危険性を認識しているのかなという不安を感じているわけでございます。

そういう2点の場所。また、野田牛久線の歩道に関しては、これは市川議員が登壇のときに出るようなので割愛しますが、ぜひともそれも頑張ってもらいたい。また、平野議員から小

山からみずき野1丁目の丁字路、おりてくるところにとまれの標識がないとか、また、市営住宅から染谷板金さんの前の通りに出るところにとまれの標識がない。本当にそこに生活してみないとわからない危険というのが隠れているんですね。こういうものは、今言ったような職員だけのパトロールで、本当に大丈夫なんですかということもあります。

街灯の要望とか防犯灯の要望とか非常に多いかと思いますが、そこが少し、区長さんとしても、声が上がってこないから口に出さないみたいなのところもあるのかなと。その部分に手を差し伸べていくということが、私たちの先ほど言ったように仕事でもあるかもしれませんが、行政サイドの仕事でもあるのかなと感じているわけでございます。

まずは、今例えた数カ所でございますが、これに関して、どういう今後の動きとか対応策とか、もしございましたら答弁を願いたいと思います。

議長（伯耆田富夫君） 生活経済部長松丸美恵子君。

生活経済部長（松丸美恵子君） お答えさせていただきます。

今、議員ご指摘のありました場所につきましては、確かに交通量が多かったり、生活圏の道路になっていきますので、危険というふうに認識しておりますので、取手警察署の方に至急要望したいと思います。

議長（伯耆田富夫君） 都市整備部長笠見吉代君。

都市整備部長（笠見吉代君） 大木地内の県道でございますけれども、大木の集落センターから守谷高校まででございますけれども、あそこの区間につきましては、用地買収が進んでいない状況でございます。そういうようなことで、車道幅員が5.3メートル程度あるようでございますけれども、用地買収が終わった時点でセンターラインを引くというように竜ヶ崎工事事務所の方で確認をしているところでございます。

議長（伯耆田富夫君） 梅木伸治君。

15番（梅木伸治君） 用地買収……、さっきの板戸井はいいとしても、大木地区のセンターライン、これもう一回いいですか。

議長（伯耆田富夫君） 都市整備部長笠見吉代君。

都市整備部長（笠見吉代君） 先ほどの車道の幅員ですけれども、5.3メートル程度ということで、5メートル以上の幅員であればセンターラインを引くことは可能のようでございますけれども、今後、車道幅員を確保するよという場合にセンターラインを引きたいというのが、工事事務所との協議の結果でした。

議長（伯耆田富夫君） 梅木伸治君。

15番（梅木伸治君） しつこくて申しわけないですが、センターラインがないところに引けということじゃなくて、センターラインが消えちゃっているところをちゃんと引き直しなさいよというのは、ちょっとニュアンス違うのかなと思うんですよ。何も無いから、例えば5.3メートルだからセンターライン引けないよと、歩道の分とれなくなってしまうよと。それはわかるのですが、センターラインが消えちゃっているというところは、センター

ラインがあったところなんですよね。センターラインがあって、それが消えちゃった、何でそこに引けないのと言ったら、今度は5.3メートルですということになると、ちょっと話がつんちんかんじゃないかなという気がするのですが、私の勘違いでしょう。

議長（伯耆田富夫君） 都市整備部長笠見吉代君。

都市整備部長（笠見吉代君） あそこにつきましては、守谷高校がございます。やはり通学等で自転車で大分通っているという部分もございますので、センターラインを引くことによって歩道の確保がとれない部分があることも事実でございますので、再度、竜ヶ崎工事事務所とも協議はしてまいりたいと思います。

議長（伯耆田富夫君） 梅木伸治君。

15番（梅木伸治君） 理解しました。センターラインを引いちゃうと歩道がとれないから、歩道をまず先につくりたいと。歩道をしっかり整備して、その道路の歩行者の安全優先というのが先ですよということでもいいんですね。わかりました。理解しました。

いわゆる話の落としどころというのは、歩行者、自転車も含めて安全確保ということですから、そういう方向に進んでいただいているということは非常にありがたいことです。当然、あの地域も年配の方多いですから、そういう意味では速やかに不安、不満を解消するように努力をしていただきたい。

また、一つこぼしてしまいましたが、愛宕地区の歩道でございますが、奥山の入り口まで赤いカラー舗装ができております。非常に狭いと感じます。歩道の幅というのは、例えば家の前と言うと、うちの真ん前は90センチなんですね。反対側は70センチなんですよ。普通、道路は、対称に例えば90センチと90センチの歩道があるのかなと思ったら、こっちは90センチでこっちは70センチというのがあるんですね。いわゆるそんなフレキシブルにできるという中で考えるならば、愛宕地区は特にセンターラインをこの間消された状態ですから、歩道をもう少し幅広く、細く長くじゃなくて、そこは安全ですよという領域になるようにつくってもらうためには、細く長くじゃなくて、太く短く順につくってもらえればなと。

実際、傘を差してあそこ歩くと、車とぶつかるかぶつからないかなんですよ。ですから、今、都市整備部長が言うように、5.3メートルとかいろいろな規制があるかと思いますが、歩行者の安全確保を最優先に都市整備部は考えている。市民協働は考えてないのかもしれない。どんどん言ってもらって結構でございますが、歩行者優先の歩道を順次提案してほしいというふうに要望したいと思いますが、いかがでしょう。

議長（伯耆田富夫君） 都市整備部長笠見吉代君。

都市整備部長（笠見吉代君） 愛宕地区のカラー舗装、路肩部分のカラー舗装でございませけれども、平成21年度は奥山への分岐部分からみずき野付近までの実施をしました。その際に、センターラインを消して路肩の幅員を広くとるようにしてございます。今後も、引き続き路肩のカラー舗装化を進めていきたいと。その際には、できるだけ路肩の幅を確保できるようにしていきたいというふうに考えているところでございます。

議長（伯耆田富夫君） 梅木伸治君。

15番(梅木伸治君) ありがとうございます。予算の関係もあるでしょうから、すべて今日中に、明日中ということではございません。順次進めていくということは、目に見えて進めていくようにしてもらいたいなど。やったのか、やらないのかわからないような進め方でも困りますから、やはりその市民の人たちが、行政職員一生懸命やってくれているなというふうに感じられるように、特に都市整備部所管はレスポンス早いと思うんですよ。直行でやってもらったりしていますから、非常にレスポンスは早いのかなと思っているところでございますが、ただ、先ほどから言うように、生活しないと危険な場所になかなか気がつかない、気づけない場所も多々あるかと思えます。

今後は、青パトとか何台かふやして回るわけですよ。そういうときも、ぜひとも目を凝らして、そういう部分に目を向けながら市民の安全向上を図っていただきたいというふうに申し上げて、一般質問を終了したいと思います。ありがとうございました。

議長(伯耆田富夫君) これで梅木伸治君の一般質問を終わります。